



わだしいすき

第77号 平成27年12月24日発行

発行者：NPO法人和田地域づくり協議会『WAO!』

連絡先：住所 南房総市和田町仁我浦206 和田地域センター内

電話 0470-47-3427

『WAO! なの花まつり2016』

「WAO! なの花まつり」と名称を変更し、来年の1月24日(日)10時~15時の間で、イベントを行うことを前号でお知らせいたしました。

舞台ではどのような内容が行われるのか、出店はどのようなものがあるのか、今号では概要をお知らせいたします。詳しくは直前に配布するチラシをご覧くださいと思います。



1. 会場 道の駅「和田浦WA・O!」西側駐車場 昨年度の嶺南中の演奏
 2. 舞台内容 祭り囃子、キッズリズムック、フラダンス(ヒロハワイアン)、Mei & Lucky's、嶺南中ブラスバンド、日本舞踊、絵画コンクール表彰、餅投げ、大道芸、ピアノ・ウクレレ、電子サックス、ユーフォニアム、ギター、篠笛、
 3. 出店内容 安房拓心高校、安中市、ふるさと学舎、JA花卉部・青年部、なごみ喫茶、わだパン、ひだまりの郷、和田浦食文化研究会、フラワーファーム羽山、パソコン教室、くすの木、スポーツ少年団、和田社会福祉協議会、和田町民宿組合、朝夷商工会青年部、地域づくり協議会WAO!、
- その他、紙芝居、ネイチャースクール、花の展示、文化サークル活動の体験もあります。さらに、**チーバ君やみなたん、オルカ鴨川の皆さん**も参加してくれる予定です。

南房駅伝、和田Aが見事優勝



第70回南房駅伝大会(鴨川~館山間)が12月6日に行われ、36チームが出場し、和田Aチームが見事37年ぶりに優勝しました。鴨川市の陸上競技場をスタート、南総文化ホールをゴールとする7区間37.5Kmで競ったもので、メンバーは監督が佐久間真一さん、1区が高橋拓巳さん、2区が鈴木政洋さん、3区が吉野友章さん、4区が内藤達也さん、5区が北川拓也さん、6区が大野勇氣さん、7区が庄司俊太さんでした。

区間記録を見ると、各区を走った和田Aの選手は、全員が1~4位の順位に収まっています。「雨にも負けず 風にも負けず一」ではありませんが、暑い日も寒い日もしっかり練習した成果だと思います。本当におめでとうございます。

1月に入りましたら、優勝旗が和田コミュニティセンター1階に展示される予定です。

12月末から1月までの主な行事

12月29日~1月3日 年末・年始閉庁日(和田地域センターは日直がいます)

1月5日(火) 南房総市の出初め式(千倉総合運動公園)

1月10日(日) 南房総市の成人式(白浜フローラルホール)

1月24日(日) 「WAO! なの花まつり2016」(道の駅和田浦WA・O!)

歩け歩け大会で峯岡山分屯基地へ

今年度2回目の歩け歩け大会が11月27日(金)に行われ、峯岡山分屯基地へいってきました。あいにく風が強く寒い中でしたが、集合場所の酪農のさとから往復約7Km、色づき始めた木々に目をやりながらゆっくり歩きました。コース途中には長狭地方が一望できる場所があり、あれは長狭学園と国保病院、あの道を行くと大山千枚田に行くなどと、眼下に広がる風景を楽しみました。

基地内では千葉県最高峰の愛宕山(408.2m)へ登り、三角点を確認しました。その後レーダーが設置されている場所から、鋸山や東京湾、対岸に見える横浜の街、さらに小さく見える富士山などを見て、さすが千葉県最高峰の場所だと感心しながら見渡していました。

この日は金曜日だったので、昼食は基地の隊員さんと一緒のカレーをいただきました。おいしくいただきました。



富士山はどこかな

クジラの骨格標本周囲の柵作り



慎重に縦杭を打つ

昨年の8月末から取り組んできた、クジラの骨格標本を囲む柵作りが、ようやく終了しました。これは骨格標本の保護や芝生ですべて怪我をしないようにすることが目的で取り組んだものです。全部で8回にわたる作業で、毎回安心安全部会員5・6人が、仕事を終えた夜7時から、照明器を使いながら約2時間の作業に取り組みました。

柵に使った縦杭は購入しましたが、横木は海岸に打ち上げられた流木を利用しました。これらの流木は、サーフィンプロジェクトが行っているビーチクリーンの作業時に拾い集めたものです。そのため、曲がっているものや木の両端の太さが違っているものがほとんどで、それだけに作業は大変でした。

しかし、出来上がりは味わいのある柵になり、骨格標本を見に来た観光客が「この柵は、おもしろいね。流木を使ったんだ」などと言いながら、記念写真を撮っていました。

太巻き寿司体験教室

今年度3回目の、地域の郷土料理を体験する教室を12月11日(金)に行いました。1回目が和田地域センター、2回目が和田地域福祉センター「やすらぎ」で、今回は「太巻き寿司体験」を『自然の宿くすの木』で行いました。

今回の太巻き寿司は、切り口が「さざんか」の花に見えるようにした巻き寿司でした。花びらや葉にみせるために、すし飯に桜色のでんぶを混ぜたり、緑色のほうれん草を巻いたり、黄色のたまご焼きを使ったりしました。

日頃家庭で料理を作っている皆さんですが、のりで細く巻いたり、それを重ねたりの作業はあまりやることがないので、少し苦勞していました。しかし太巻き寿司が出来上がり、それを2つに切り分け模様が浮かび上がると、自然に拍手・歓声がおきていました。

詳しく知りたい方は、レシピが和田地域づくり協議会にありますので、来所の際お申し出ください。



手元に集中して